

社協だより

第101号 ふれあい 令和元年5月15日



田畑元気な村づくりプロジェクト
『そば打ち体験』

羽後町社会福祉協議会では、住民同士が自分の地域について関心をもって行動できるよう、町内の居場所サロンの設置に力を入れています。写真でその一部をご紹介しますが、‘自分の集落にも!!’というご希望があれば

羽後町社会福祉協議会事務局

TEL 62-5312・5313

までお気軽にお問い合わせください。



上到米つどいのサロン

なお、地域包括支援センターの移転に伴い、☎62-5312の番号も羽後町社会福祉協議会へ直接繋がるようになりましたのでご活用ください。



大久保サロン
『認知症講座』



サロンカフェのなか
『健康講座』

平成30年度第2回羽後町社会福祉協議会評議員会が、3月29日に開催されました。

はじめに、就業規則の一部改正についてや給与に関する規程の一部改正について等が報告されました。議事として平成30年度補正予算について、平成31年度事業計画について、平成31年度予算について審議してい



ただきました。

平成30年度に第4期目となる地域福祉活動計画が町と協同で策定され、平成31年度より実施されます。本誌後半にて大まかな内容をご紹介します。



基本方針

第4期地域福祉活動計画（平成31年度～令和5年度）が策定され、初年度となります。本年度は第4期地域福祉活動計画で策定された計画を平成31年度に取り入れ事業を行います。

少子高齢化に加え、住民一人ひとりを取り巻く環境の変化や地域福祉課題の多様化、複雑化がより顕著になってきている現状をふまえ、高齢者福祉のみならず各分野の支援等にも力を入れ、計画の見直しが必要か検討します。

こうした事業をとおして住民主体の地域福祉活動をめざしながら、関係機関・団体等との連携を強化し、誰もが安心して暮らせる安全なまちづくりに努めます。

活動の重点項目

1. 昨年度策定した第4期地域福祉活動計画を関係機関と連携を図りながら、「みんなでふれ愛、ささえ愛の安心の町づくり、地域共生社会の実現」をめざします。
2. 福祉ネットワークの拡充と地域福祉活動を展開します。
3. 地域包括ケアシステムの構築について関係機関との連携に努めます。
4. 福祉大会等を通して世代間交流や町民の福祉意識の醸成に努めます。
5. ボランティア活動の拡充と環境の整備に努めます。
6. 福祉相談窓口を拡充させ、関係機関と連携を図り早期解決に努めます。
7. 障がい者関係団体等との連携による地域福祉活動に一層努めます。
8. 町の避難訓練と連携を図り、災害が発生した場合に迅速な対応ができるように努めます。
9. 若年層の抱える課題と現状の把握に努め、その支援に努めます。
10. 組織体制の強化と健全財政の確立により一層努めます。
11. 介護保険法・障害者総合支援法など、目まぐるしく変わる制度に対応できる法人となるよう一層努力します。

平成31年度予算は下記のとおりとなります。下記の表は社会福祉事業拠点区分、公益事業拠点区分、収益事業拠点区分を合算したものとさせていただきます。昨年度の広報にて記載させていただきましたが、昨年度予算にて老朽化していた福祉バスの更新を実施しました。本誌裏面にて福祉バスの外観等のご紹介をしています。

平成31年度
社会福祉法人羽後町社会福祉協議会予算
7億5,736万4千円

収入

事業活動による収入

単位：千円

科目名	金額	比率
1 会費収入	3,500	0.639%
2 寄付金収入	300	0.055%
3 経常経費補助金収入	17,840	3.259%
4 受託金収入	436,129	79.662%
5 事業収入	30,345	5.543%
6 介護保険事業収入	54,000	9.864%
7 障害福祉サービス等事業収入	2,310	0.422%
8 受取利息配当金収入	18	0.003%
9 その他の収入	3,031	0.554%
事業活動収入計 ①	547,473	100%

その他の活動による収入

単位：千円

科目名	金額	比率
1 サービス区分間繰入金収入	28,641	77%
2 その他の活動による収入	8,680	23%
その他の活動収入計 ④	37,321	100%

その他の活動資金収支差額 ⑥=④-⑤ **-5,282**

前期末支払資金残高 ⑨ **172,570**

支出

事業活動による支出

単位：千円

科目名	金額	比率
1 人件費支出	467,899	81.6%
2 事業費支出	26,371	4.6%
3 事務費支出	39,201	6.8%
4 助成金支出	4,480	0.8%
5 負担金支出	1,122	0.2%
6 その他の支出	34,500	6.0%
事業活動支出計 ②	573,573	100%

事業活動資金収支差額 ③=①-② **-26,100**

その他の活動による支出

単位：千円

科目名	金額	比率
1 サービス区分間繰入金支出	28,641	67%
2 その他の活動による支出	13,962	33%
その他の活動支出計 ⑤	42,603	100%

予備費 ⑦ **2**

当期資金収支差額合計 ⑧=③+⑥-⑦ **-31,384**

当期末支払資金残高 ⑩=⑧+⑨ **141,186**

法人本部拠点区分

法人運営事業	特別養護老人ホーム松喬苑介護等業務事業
善意銀行運営事業	羽後町田代福祉センター介護等業務事業
訪問介護事業	福祉バス運行管理事業
身障・知障(児)・精神居宅介護事業	高瀬ケアセンター業務事業
退職積立金運営事業	安心・安全な街づくりパトロール隊事業
生活福祉資金貸付事務事業	共同募金配分金事業
通所介護事業	福祉サービス利用援助事業
ふれあい安心電話推進事業	

公益事業拠点区分

居宅介護支援事業

収益事業拠点区分

シルバ一人材事業

ポランテア団体連絡協議会

心といのちを考える

講演会

羽後町ポランテア団体連絡協議会が主催する「心といのちを考える講演会」が平成31年2月22日(金)に開催されました。

今回の講演会は湯沢市最禅寺副住職、森田昭善さんの講師にお招きし、「いのちのバトン〜支え合う命の中で、できること〜」という演題でご自身の経験したこと等を交えながらご講演いただきました。



株式会社柴田組様 株式会社北都銀行様より

歩行器を寄贈していただきました

平成31年3月6日(水)、五輪坂デイサービスセンターを会場に「ほくと寄付型私募債」発行による寄贈式が行われました。

柴田組様、北都銀行様の地域貢献、地域活性化の支援を目的とした活動の一環により、5台の歩



行器を寄贈していただきました。いただいた歩行器は五輪坂デイサービスセンターにて大切に使用させていただきます。誠にありがとうございます。



さくら草の会 お楽しみ会開催

平成31年3月8日(金)、南部シルバーエリアを会場に「さくら草の会 お楽しみ会」が開催されました。

午前は雄物川の漫談師辻田与五郎さんをお招きして愉快的な漫談を、午後は恒例となったお楽しみ抽選会やカラオケで楽しみました。

さくら草の会では随時参加者を募集中です。興味のある方はお気軽に羽後町社会福祉協議会事務局までお問い合わせください。



新成支会 福祉茶話会

平成31年3月17日(日)社会福祉協議会新成支会による福祉茶話会が新成公民館にておこなわれました。

羽後交番による交通安全についての講話、人生亭喜楽駄音さんの漫談、レクリエーション等で楽しいひと時をすごしました。



人事異動

新年度にあたって発令された羽後町社会福祉協議会の人事異動は次のとおりです。

平成 31 年 4 月 1 日付

区分	異動後	氏名	異動前	備考
事務局	主事兼在宅福祉相談員 ・地域福祉班担当兼シルバー人材センター担当	佐々木 卓 実	主事兼在宅福祉相談員	
	在宅福祉相談員 ・シルバー人材センター担当兼地域福祉班担当	橋 優 輝	シルバー人材センター担当	
訪問介護 事業所	介護福祉班担当主任兼訪問介護員兼介護支援 専門員 ・五輪坂事業所（本所）	佐々木 友佳子	介護福祉班担当主任兼居宅介護支援事業所 介護支援専門員兼五輪坂デイサービスセン ター介護職員	
	主任訪問介護員兼介護支援専門員	武 田 聖 子	主任訪問介護員（サービス提供責任者）兼 介護支援専門員	
	訪問介護員（サービス提供責任者）	金 里佳子	訪問介護員	
松喬苑	介護職員	佐 藤 良 子	パート介護職員	正規雇用
	介護職員	安 倍 里 菜		新規採用
	パート介護職員	矢 野 薫	高瀬ケアセンター介護職員	再雇用
	パート介護職員	池 田 菜穂子	介護職員	再雇用
高瀬ケア センター	介護職員	山 内 皓 仁	松喬苑介護職員	
	介護職員	今 平 はるみ	パート介護職員	正規雇用
	介護職員	梶 原 藍 香		新規採用
	介護職員	松 本 正 義		新規採用
	介護職員	滑 川 学		新規採用
	パート介護職員	石 垣 幸 子	五輪坂デイサービスセンターパート介護職員	
	パート介護職員	内 藤 梨香子		新規採用

第 4 期地域福祉活動計画が策定されました

地域福祉活動計画とは、社会福祉協議会が定める地域福祉の推進、福祉課題の解決をめざした民間の活動・行動計画です。行政計画である「地域福祉計画」と連携・協働しつつ、地域福祉推進に関わる関係団体やボランティア、そして地域住民一人ひとりが、それぞれの立場で今後の地域福祉の推進において、どのような活動に取り組んでいくかという視点からまとめられています。

内容は羽後町社会福祉協議会のホームページに掲載する予定です。



↑写真は概要版となります

この福祉だよりは、共同募金の配分金で発行されています。

6月より日赤会費と青い羽根募金運動が始まります。日赤会費は災害や国際活動に、青い羽根募金は水難事故防止を目的としています。

どちらも、それぞれの分野に生きる資金として大切に活用させていただきますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



日本赤十字会費

青い羽根募金



ご協力をお願いします

福祉バスがリニューアル!



町民の皆様の善意とふるさと納税の一部により、平成15年より活躍してきた福祉バスがこの度新しくなりました。新年度より運行しています。

心あたたかいご寄付
ありがとうございました

社会福祉協議会へ次の方々からご芳志をいただきました。心からお礼申し上げます。

寄金

1月

羽後高等学校様

3月

パンフラワー教室ひまわり様
(株)ジェイエイおがち葬祭センター
従業員親睦組合様

物品

3月

(株)柴田組
代表取締役社長 柴田 晋様
(株)北都銀行
頭取 斉藤 永吉様
歩行器



編集
後記



5月から「令和元年」となり新時代の幕開けとなります。

平成を振り返りますと、福祉の取り組みも介護を必要とする高齢者の方々が増えてきています。また、それに伴い人手不足が深刻化してきています。今後さらに高齢化が進む中、社会保障の充実や運営共同も進めていかなければならないと思います。

先日、NHKの「クローズアップ現代」の番組で、「死にゆく人の心に寄りそう」という看護師僧侶の番組を見ました。死にゆく人の心に不安や恐怖を吐き出してもらおうという。医療や看護の知識や、様々な資格に加えてメンタルクリニックで仏教的アプローチを担っている。
医療と仏教の教えを融合させることに力をいれているという言葉がとても印象的でした。

(T・M)